

兵庫 県
保険 医 協 会

西宮 市
芦屋 区

支部 ニュース

No. 289

2010-10-25

発行
〒662-0074

兵庫 県 保 険 医 協 会
西宮市石列町十八ー八
連絡先 兵庫 県 保 険 医 協 会

西宮・芦屋 支 部
大森 内 科 医 院 内
電話 〇七八(三九三)一八〇一

Medical English #27

「言えそうで言えない」英語表現を学習

9月10日、西宮医療会館で「胃潰瘍 & 逆流性食道炎」をテーマに Medical English#27を開催。Robert Conroy 氏が講師、坂尾福光先生(西宮市・ビューハイクリニック)が司会を務め、医師・薬剤師ら15人が参加した。アドバイザーとして参加した中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)の感想文を掲載する。



アドバイザーの中島先生(左下)と、スキットに熱心に取り組む参加者



司会を務める坂尾先生

今回の Medical English のテーマは、経鼻内視鏡検査(鼻から通す胃カメラ検査)、胃潰瘍、逆流性食道炎でした。えづきが少なく患者さんの負担が少ないことから、当院でも昨年から経鼻内視鏡を導入しております。英語圏の方が検査を受けられることがあるのですが、案外説明が難しいのが前処置です。
「ゼリー状の麻酔を鼻にいれます」
「ちよつと鼻をすするように液を吸ってください」「はい、そのまま3分ほどやすんでください」などです。
* * * * *
「ゼリー状の麻酔を鼻にいれます」
We are going to apply some local anesthetic jelly into your nostril.



参加者の一人一人に丁寧に発音の指導を行う Conroy 氏

「ちよつと鼻をすするように液を吸ってください」
Could you sniff, so the jelly goes further in the nostril.
「はい、そのまま3分ほどやすんでください」
Just stay still for about three minutes.
* * * * *
コンロイ先生と坂尾先生の名コンビによる分かりやすい解説で、言えそうで言えない英語表現を数多く学ぶことができました。
【西宮市・中島クリニック 中島敏雄】

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部共催企画 愛のコンサートシリーズ vol.2 The Classic Lovers Concert 君こそわが戀い ~ Du bist die Ruh ~

【日時】 10月27日(水) 18時30分開演

【会場】 西宮市プレラホール

【出演】

ソプラノ 長谷川 眞弓

ピアノ 森口 綾子

バリトン 小玉 晃

マリンバ 今田 香織



長谷川 眞弓

【主催】 SFCC 実行委員会
(Songs for Children in Classroom)

※本企画は、子どもたちに小学校の授業で詩と音楽の手作りコンサートを贈るボランティア活動を支援しております。

【入場料】 当日券 3,000 円、前売券 2,000 円のところ、協会を通じてご購入いただきますと 1 割引 (1,800 円) とさせていただきます。ご希望の際は、下記連絡先まで。

第8回胸部 X-P 読影会

日時：10月29日(金) 20時~

会場：西宮渡辺心臓・血管センター

講師：尼崎市・はら内科クリニック 原 秀樹 先生

参加の先生に持ち寄っていただいた胸部写真の検討会を行います。毎日の診療の中での検討したい胸部写真をご持参ください。

症例のお持込みを歓迎いたします！

上記企画のお問い合わせは 事務局 岡林・山田・伊藤まで
Tel:078-393-1817 / Fax:078-393-1802 / Mail:yamada-t@doc-net.or.jp

第24回在宅医療研究会

日時 11月13日(土) 15時~17時30分

会場 西宮神社会館2階「福・寿の間」
西宮市社家町1-17 TEL0798-23-3311

講演① 「認知症の医療システム
~認知症疾患医療センターの役割~」
兵庫医科大学病院 認知症疾患医療センター
ケースワーカー 清水 まき さん、西口 亜悠 さん

講演② 「認知症ケアにおける傾聴の意義」
元北海道教育大学非常勤講師
西長洲荘・介護支援専門員 栗野 真造 さん

事例検討

ディスカッサー

たなかホームケアクリニック(篠山市)	田中 章太郎 先生
訪問看護センターのぞみ	梯 三千代 さん
高須地域包括支援センター	高橋 君江 さん
あいケアセンター西宮	松末 秀子 さん
浜脇デイサービスセンター	正原 匡明 さん

司会 つちやま内科クリニック 土山 雅人 先生



小林先生のお話真剣に耳を傾ける参加者



被爆体験を語る小林先生



開会あいさつに立つ幸原先生

このつどいは、1985年に芦屋市議会が非核平和都市宣言を決議したことを記念し、市民主催で毎年開催されており、幸原久支部相談役(芦屋市 幸原小児科・内科医院)が実行委員長を務めている。幸原先生の開会あいさつでは、記念講演では、「5000人のカルテ」被爆医師の闘い」と題して大阪・此花診療所の小林栄一先生が講演。小林先生は、長崎医科大学付属病院で口頭試問中に被爆した自らの生々しい体験を証言。幸いにも自身に原爆症の症状は現れなかったが、周りで無残に死んでいった人たちのことをいまだに忘れることができず、「生き残って申し訳ないという気持ちがあつた」と語った。小林先生は「残った者の責任」として、被爆者医療を続けることを決意し、現在では診療した被爆者の数は5000人以上にのぼる。また、「原爆の恐ろしさはこうやって

非核平和祈念のつどい

被爆体験を後世に伝えたい

10月16日、芦屋非核平和のつどい実行委員会、上宮川文化センターで「非核平和記念のつどい」を開催。医師・市民ら107人が参加した。

厚生労働省職員との懇談会

日時 : 11月13日(土) 17時30分~

会場 : 保険医協会会議室 神戸フコク生命ビル5階
(JR・阪神「元町」駅下車東口から南へ徒歩7分)

①外来加算の考え方、②高額レセプト医師に対する指導、③ジェネリックの推進について、④地域貢献加算、⑤入院中患者の他院受診、⑥DPCについて等を個別にあげ、厚生労働省職員と論議いたします。事前にお申し込みのうえ、ご参加ください(定員20人)。

上記企画のお問い合わせは 事務局 岡林・山田・伊藤まで
Tel:078-393-1817 / Fax:078-393-1802 / Mail:yamada-t@doc-net.or.jp

世話人会だより

お話をするだけではなかなか分かってもらえない」と、被爆体験を語ることの難しさを強調。被爆体験を後世に伝えていくことの大切さと困難さを指摘した。つどいでは、今年5月のNPT再検討会議の報告や、参加者全員による「にんげんをかえせ」の合唱なども行われた。

西宮・芦屋支部は9月24日にフレンテ西宮で世話人会を開催。8人が参加した。

【報告】

①英語で診療#27(9・10)
②厚生労働省職員との懇談会(9・11)

【予定・企画】

- ①愛のコンサートシリーズVol.2「The Classic Lovers Concert」(10・27)
- ②第8回胸部X・P読影会(10・29)
- ③健康と医療について語り合う会(11・6)
- ④第25回在宅医療研究会(11・13)
- ⑤第26回在宅医療研究会
- ⑥英語で診療
- ⑦第25回漢方研究会
- ⑧新規開業医交流会
- ⑨西宮・芦屋支部設立30周年企画

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。